

学部だより

「トライアル・ウィーク」報告

子ども達と学校・園生活をともに過ごし、教育現場での子どもたちの実態から学ぶことを目的とした実践体験学習が「トライアル・ウィーク」。毎年、春と夏の長期休暇中に実施しています。1週間（5日程度）にわたり実践体験にチャレンジすることから「トライアル・ウィーク」と名付けスタートしました。最近は、2日間の観察実習も同時期に実施しています。

参加対象は主として教育実習を履修する前の学生です。実践体験の第一歩として位置づけ、この経験をその後の学校支援ボランティア活動や正課の教育実習につなげてほしいと願っています。

教職志望者にとって、教育実践に参加することは大きな意味があります。「トライアル・ウィーク」では①実際に子ども達と学び、遊ぶことをとおして「子ども理解」をすすめること②始業から終業までの1日の流れを広く体験することで「学校・園の教育活動の理解」を深めることをめざしています。

参加した皆さんからも大変好評です。次回も参加したいとの声も多く、貴重な学習機会になっています。

過去1年間の実績：

平成19年度 トライアル・ウィーク（前期）

9月10～13日 幼稚園（大谷幼稚園） 参加11名

9月12～13日 小学校（富田林市）4校 参加25名

平成18年度 トライアル・ウィーク（後期）

2月20日～23日 幼稚園（大谷幼稚園） 参加12名

2月14日～15日 小学校（河内長野市）4校 参加30名

なお、参加に当たっては、事前の研修を受けること、終了後は参加レポートを提出することが必要となります。

今年度後期は平成20年2月に実施予定です。日程、期間は掲示でお知らせします。皆さんの積極的な参加を期待しています。

（学部長 岡崎裕子）